



鎌養だより

(校長室より 第9号)

令和2年1月14日

鎌倉養護学校 校長 齋木 信也



鎌養祭が終わり、児童生徒も先生方もミッションの成功にやや放心状態となっていた12月だったのかなと感じています。当日の各学部の発表や作品群のいろいろな工夫について、お隣の関谷小の大野校長先生を始め地域の皆様からうれしい好評をいただき、私自身も先生方の苦心と工夫に改めて目を開かせられた…素敵な2日間でした。

12月24日(火)

校長先生より



今年の冬休みは…



ちょっと短い



手話にチャレンジ…

令和



令(れい)



和(わ)

年号が平成から令和に代わったあの五月の大フィーバーも今となっては遠い過去の出来事になりました。終業式では「令和」の手話を改めて紹介しながら、「花のつぼみが未来に向かって美しく開花する」ように児童生徒の皆さんも、それぞれの目標や夢に向かってチャレンジを続けてくださいね、という話をしました。そして、二学期の終業式が一年の中で一番待ち遠しかったという、私自身の思い出を紹介しながら、「楽しい冬休みを過ごしてください」と、今年も各地で起こった災害を頭の片隅に置きながら…年末年始の無事息災を祈る気持ちで話を閉じました。

1. 児童生徒の活動から いろいろな交流の形



今年最後の関小交流は3年生のみなさんでした。ご覧の通り、鎌養小学部の各学年それぞれが考えた交流のスタイルに関小のみなさんが積極的に参加し活動していました。自己紹介、歌あてゲーム、工作、ボッチャ等々(^ω^)……。一緒にいるのが当たり前。そんな雰囲気の中で歌を歌ったり、大きな声で笑ったり、恥かしそうに話したり、思い切り投げたり、好きな色に塗ったり、車いすを押して校内をあちこち散歩したり(^ω^)……。

鎌養祭で燃え尽きて空っぽになっていた鎌養の子どもたちの心に笑顔や歌声のプレゼントをたくさんもらって、チャージ完了。体育館でのお別れのセレモニーでは、みんながちょっぴり寂しそうな様子でした。また来てくださいね。

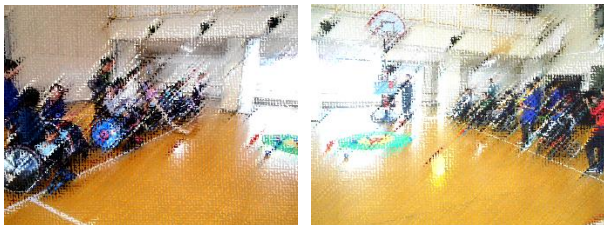


高Aの学びは12月もアクティブ・ラーニング。お馴染みになった地域の大先輩たちが高1の授業「社会生活」に大勢参加してくれました。生徒たちが考案した新作「餡(あん)」をじっくりと賞味吟味して、最高のアイデア「餡」を選定してくれました。私は、「こしあんチョコ」に一票。全体でも「こしあんチョコ」が一位だったようです。どうやら、生徒のアイデアが本校のメニューとして採用されるという噂も(^ω^)・・・。

ただし、採用されるのは「こしあんチョコ」ではないようですが、とても楽しみです。また、下の二枚は地域の防災協議会の皆さんによる避難所体験学習の第二弾。避難してきた生徒たちが受付で今回初参加になる係の方々とやり取り…。ちゃんと話が伝わるか、ドキドキはらはらの瞬間。生徒たちはみな真剣に取り組んでいました。最後に学校評議員でもある江上さんからの講評をいただきました。生徒たちの真摯に聞く姿勢が素晴らしい(^ω^)・・・。



← 普段は給食のない金井分教室の生徒たち。今日は本校で給食体験学習(^ω^)・・・。給食を前にした分教室の3年生たち。配膳をする段階からこぼれる笑顔、笑顔(^ω^)・・・。給食にまつわる思い出話に花が咲いたり、今日のメニューを話題にしたり。給食って、やっぱり子どもたちにとって元気の源なのだと彼らのうれしさいっぱいの様子を見て思いました。



左の2枚は、昼休みのポッチャ交流の様子です。高Aと高Bの生徒が混合チームを作って真剣勝負。部門を越えたアットホームな交流が鎌養の素敵どころ。次回の対戦を約束し合って、昼休みが終了しました。

2. 研修会や勉強会

12月23日 自作教材教具報告会
先生方が今年制作した数々の自作教材教具をポスター発表形式で報告し合い学び合いました。

12月24日 冬季公開講座
子どもたちの発達の様子を知るためのツールとして、太田ステージ(認知発達評価)を学びました。

12月25日 企業と語ろう in 湘南藤沢
高等部卒業後の進路先となる企業の社長さんや所長さんと保護者との懇談会。不安を安心に、が目的です。

校長先生の目標

毎月の鎌養だよりに短歌をのせる



令和最初のお正月。好天に恵まれ、私の住む二宮町の吾妻山公園から眺める富士山と相模湾がキラキラと輝いていました。皆様にとって良い年となりますように。

正月や ころは 昔、男ありけり